詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

10月

令和8年(2026年)第42週　2026年10月12日(月)～2026年10月18日(日)

熊本市　感染症発生動向調査　速報

E型肝炎について

E型肝炎ウイルス（HEV）による感染症で、衛生状態の悪い地域で多くみられ、先進国でも時々発生します。HEVは主として経口感染しますが、ごく稀に、感染初期にウイルス血症をおこしている患者（あるいは不顕性感染者）の血液を介して感染することもあります。

-主な症状- ウイルスに感染した後、2～10週間（平均6週間）の症状のない期間があった後、急な発熱、全身のだるさ、食欲不振、吐き気・嘔吐が見られ、数日後に黄疸（皮膚や目の白い部分が黄色くなること）がみられます。通常は1～6週間で自然に改善しますが、重症の場合、回復するまでに数週間から数か月かかることもあります。妊婦では重症になることが通常より多く、死亡する可能性があり、また自然流産や早産のリスクもあります。

✓ 食べもの・水に注意しましょう



詳しくは厚生労働省HP「E型ウイルスの感染事例 E型肝炎Q&A」

- 十分に加熱調理（70℃以上で5分間）してあるものを食べましょう。
- 特に、ブタ、イノシシ、シカの肉を生で食べることは危険ですので注意しましょう。
- 途上国では、ミネラルウォーターや、煮沸させた水を飲みましょう。カットフルーツなども洗った水が汚染されていることがあるため、自分で皮をむいて食べるほうが安全です。皮の傷んだものは食べないようにしましょう。

✓ 手洗いをしましょう

- 食事の前には十分に手を洗い、E型肝炎患者の糞便からの経口感染を予防しましょう。

定点種別	疾患名	状況	41週(10/5～10/11)		42週(10/12～10/18)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症（ARI）	インフルエンザ	－	318	13.83	204	8.87
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		10	0.43	3	0.13
	急性呼吸器感染症(ARI)		1414	61.48	1064	46.26
小児科	RSウイルス感染症		14	1.00	16	1.14
	咽頭結膜熱(プール熱)	－	2	0.14	2	0.14
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	15	1.07	13	0.93
	感染性胃腸炎	－	56	4.00	33	2.36
	水痘(みずぼうそう)	－	1	0.07	3	0.21
	手足口病	－	9	0.64	6	0.43
	伝染性紅斑(りんご病)	－	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		7	0.50	6	0.43
	ヘルパンギーナ	－	13	0.93	12	0.86
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	－	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	－	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	－	9	1.80	5	1.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		3	0.60	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		2	0.40	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル　△:注意報レベル　－:警報・注意報レベルなし